

補助金見直し基準チェックシート（第2次実行計画）

65

農林水産課

補助金の名称 (規則・要綱名)	特産物育成事業費補助金		
	農林水産関係事業補助金交付要綱		
補助事業の概要 及び交付先	特産物育成のための各種事業費に対し、補助をする。交付先:各種農業団体		
補助金の額	平成28年度決算	平成29年度予算	平成30年度予算
	1,930,000円	1,833,000円	1,741,000円
分類	形態による分類	期間による分類	目的・性格による分類
	市単独補助金	継続的補助金	事業費補助金
交付期間	開始年度	H29	終了年度(予定) H33
見直し基準 1 共通事項	ア 社会情勢の変化により補助目的は適切か		適切
	イ 市が補助すべきものか		補助すべきもの
	ウ 補助対象となっている経費の使途は明確か		明確
	エ 会計処理・実績報告が正確に行われているか		適切(2017/03/31受理)
2 個別事項 (1) 団体運営費	ア 少額の補助金か		*****
	イ 翌年度繰越金は補助金の額を上回っていないか		*****
	平成26年度繰越金	平成27年度繰越金	平成28年度繰越金
	0円	0円	0円
	ウ 食糧費・旅費の割合は30%をこえていないか		*****
	エ 事業費補助金に切り替えられないか		*****
	※ 検討していない理由	*****	
(2) 補助対象経費	補助対象経費の3分の1以内か		3分の1以上である
	※ 補助対象経費の額	4,369,793円	
(3) 人件費補助金 (積算内訳)	*****		
3 今後の方向性	現行のまま補助を継続		
	西尾市は県内有数の農業が盛んな市であるため、特産物の育成、栽培技術の向上は必要不可欠であるため継続したい。		
4 終期の設定	補助金交付要綱等に終期を設定しているか		設定している

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

65

農林水産課

補助金の名称 (規則・要綱名)	特産物育成事業費補助金	
	農林水産関係事業補助金交付要綱	
①総合計画施策コード	章による分類	1 産業振興 活力と魅力あふれる産業づくり
	項による分類	4 農・水産業
	施策内容による分類	1 特色ある農・水産業の展開
②市長マニフェスト		
③補助の終了年度までの目標を記載してください。 (可能な限り数値的な目標を記載)	特産物の育成、栽培技術の向上、営農組織の育成等を図りながら、安全で安心な農産物の栽培に取り組むための支援をし、県内4位の農業産出額を維持することを目標としている。	
	上記目標は、適切な目標が設定されているか。	設定されている
④目標に対する進捗状況及び進捗率を記載してください。	市内の15団体が研修やPR活動等の経営改善や品質向上に向けた取り組みを実施することで、県内4位の農業生産額を維持。	
	補助の終了年度までの目標を達成できているか。	目標達成
⑤補助の恩恵を受ける人(受益者)を記載してください。	生産者、消費者	
	市税の使い道として、受益者に偏りはないか。	偏りはない
⑥補助金の交付先を記載してください。	西尾市花き協議会、西尾市茶業組合、吉良茶業組合、西三河農協きゅうり部会、西三河農協トマト部会、JA西三河梨部会、西三河農協いちじく部会、西尾市柿組合、福地植木生産組合、JA西三河いちご部会、西尾市茄子組合、西三河農協露地野菜部会、レインボーバラ共選組合、西尾幡豆カーネーション部会、西尾茶業クラブ	
⑦社会ニーズ、優先度、補助の効果、メリットなどについて記載してください。	幅広い団体に補助することで、西尾市の特産物全体の育成に繋がる。社会のニーズとして、市とJAが連携し各団体に補助を出すことで、県内4位の農業産出額を維持している。	
	上記内容は、公益性の観点からどうか。	メリットがある
⑧補助団体等の補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などを記載してください。	補助金の使途:会議費、研修費、資材費、分析費等 申請金額の根拠:事業計画書 財政状況などの確認方法:実績報告書を提出してもらい、活動内容、決算内容について確認している。	
	上記内容は、補助金の交付先として適格か。	適格である
⑨要綱等の制定年月日は何時ですか。	制定年月日	平成17年04月01日
	改定年月日(最終)	平成30年04月01日

補助金見直し基準補足調査票（第5次実行計画）

65

農林水産課

項目		平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度予算	
補助金の額等	補助金支出額	1,930,000円	1,719,000円	1,741,000円	
	補助件数				
	財源	国庫県費			
		その他			
		一般財源	1,930,000円	1,719,000円	1,741,000円
国庫県費等の名称					

補助金等検討委員会の評価

目標	達成度	公平性	公益性	妥当性	効率性	適格性
成果目標(指標)は適切な目標(指標)か。	目標を達成できているか。実現に近づいているか。	受益者は、公平性の観点から偏りはないか。既得権益化していないか。	社会ニーズ、優先度、補助の効果などは、公益性の観点からどうか。	成果を下げることなく、他の主体・実施方法を検討する余地はないのか。	手法改善等により、成果を下げずに効率的な交付となっているか。	補助金の使途、申請金額の根拠、財政状況などは、適格性の観点からどうか。
D	D	D	C	D	D	D
評価結果	補助金等検討委員会		補助金検討委員会からのコメント			
	廃止検討		特産物という定義は曖昧なため、補助団体が目指す目標を明確にした上で補助金の交付を判断していただきたい。			
補助金等検討委員会の主な意見						
補助団体が複数の補助金を申請する場合があるので、申請事務の改善をしていただきたい。						
幅広い特産物に補助金を交付するのではなく、市が特産物としてPRしたいものを集約して補助をする方法を検討していただきたい。						
補助金を交付して、どれだけの効果があるかを念頭に判断していただきたい。						